学年通信　４５回生　第１９号　　明日のために

～Ｓｈｉｎ～

今日つながろう　　９月１日

焦らず進んでいきましょう

夏季休業が終り、今日から２学期が始まります。

各自、受験に向け計画を立て学習に励んでいたと思います。学校が始まり、クラスや学年の友達と受験の話をしていると、他の人が自分より勉強していると感じたり、模試の成績が中々上がらなかったりと焦る気持ちが出てくる人もいるかもしれません。また、自分の勉強の仕方が間違っているかもしれないと不安になるかもしれません。しかし、勉強の仕方やペースは人それぞれです。受験日から逆算して、いつまでに何を仕上げるのかを考え、自分がやってきたことを信じ、焦らず日々の学習を進めていきましょう。他の人とは、得意、不得意も違います。当然、勉強の仕方も違います。自分の希望・目標を見失うことなく、自分が毎日、やるべきことをコツコツと実行していきましょう。

受験生は皆、辛くしんどいと思っています。そんな時は、クラスや学年のみんなの前向きな言葉で頑張っていけるのではないでしょうか。自分もみんなも頑張れるように 45 回生のみんなからそんな前向きな言葉が出てきてほしいと思います。それが、力となるのです。大丈夫！できる！

今後の模試の予定

９月 15 日(金)・16 日(土)	第１回ベネッセ・駿台共通テスト模試
10 月 6 日(金)・7 日(土)	第２回ベネッセ・駿台記述模試
10 月 27 日(金)・28 日(土)	第３回ベネッセ・駿台共通テスト模試

受験の手続きについて

早い人で、９ 月の初めに出願をする人もいると思いますが、自分の出願書類を確認して不備がないよう早めに準備をしましょう。
まずは、受験する大学の大学案内（願書）を入手し、出願書類（受験料振込票含）・入試日程・入試科目・出願締切り等を確認します。

総合型選抜・学校推薦型選抜への出願

①担任の先生に**総合型選抜・学校推薦型選抜申込書**と**調査書発行願（総合型選抜・学校推薦型選抜）**をもらい、記入して担任に提出
＊調査書・推薦書は担任の先生に作成してもらうので少なくとも１週間前には申し出てください。
②願書を記入（Web出願の場合は、Web入力）
③受験料を期日までに入金（Web出願は出願時）
④検定等の証明が必要な場合は準備しておく
⑤出願書類を確認し、郵便局で郵送（Web出願は調査書・その他必要な書類を郵送）
⑥受験後、2024 年度入試 受験レポートを記入し提出

一般選抜

①担任の先生に調査書発行願（一般選抜用）をもらい、記入して担任に提出
＊調査書は担任の先生に作成してもらうので少なくとも１週間前には申し出てください。
②願書を記入（Web出願の場合は、Web入力）
③受験料を期日までに入金（Web出願は出願時）
④出願書類を確認し、郵便局で郵送（Web出願は調査書・その他必要な書類を郵送）
⑤受験後、2024 年度入試 受験レポートを記入し提出

＊受験料の振り込みはコンビニでもできますが、Web出願の場合は、カード決済になっている大学もあります。Web出願時に受験料振込があり、クレジットカード情報を入力する必要があるので、保護者と一緒に出願の手続きをするようにしましょう。

Team45 のつぶやき 担当 ; 杉本 友

時間って本当に平等なの？

人に与えられている時間は皆同じである。これはよく言われていることであり、我々の常識の一つだと思います。でもこれって本当なのでしょうか。

アインシュタインは相対性理論の中で、時間は相対的なものであるといっています。簡単に言うと、止まっているものの時間の進み方と動いているものの時間の進み方が同じではないということです。止まっているものの時間の進み方に比べ、動いているものの時間の進み方は、速さが大きくなれば大きくなるほど遅くなっていきます。どういうことかというと、止まっているものの中の人の 1 秒が、動いているものの中の人では 0.8 秒になったりするということです。速ければ速いほどこの差は大きくなっていくということです。

その式は下記のように与えられます。

$$\text{動いているものの時間} = \text{止まっているものの時間}\sqrt{1-\frac{(\text{動いているものの速さ})^2}{(\text{光速})^2}}$$

光速は 3.0×10^{8}m/s（30 万㎞毎秒）で、地球を 1 秒間に 7 周半回ります。この式から、光速の半分（1.5×10^{8}m/s）で動くものの中では、止まっている人の経過時間 1 秒が、物体の中の人には約 0.87 秒しか経過していないということです。逆に動いている人の中の人の経過時間 1 秒は、止まっている人には約 1.15 秒経過しているということになります。実際にはこのような速さで動くことはできないので、人に与えられている時間はほぼ同じ 1 秒は 1 秒となります。そう考えると与えられている時間は同じと考えてもよいといえます。

何が言いたいのかというと、時間は平等ではなく速く動いている人には多くの時間が与えられるのでは、ということです。

「はやく」動けということ

例えば、ある 20 問の課題があります。A君は 1 問 5 分で解くのに対し、B君は 4 分で解くとします。この課題の所要時間は、A君は 100 分なのに対し、B君は 80 分です。この 20 分の差を＋αの時間にすることができます。速く動けば動くほど多くの時間が与えられるということです。

また、少しでも準備を早く始めることができたらどうなるのでしょうか。もし、1 日 20 分の時間が作れたとすると、1 週間では 140 分、2 週間では 280 分の時間を作り出すことができます。これもまた＋αの時間にすることができます。

大切なのは『速く』『早く』動くことですね。

では『速く』動くためにはどうすればいいか。これは速くすることを意識し続けることだと思います。いつ何時、1 分でも 1 秒でも『速く』動くことを意識してください。
『早く』動くためには、やはり後回しにしないことです。明日から、また後で、というのはやめましょう。

少しでも「はやく」できるように意識・行動・習慣を変え、時間を有効に使って、進路実現に向けて頑張っていきましょう。

☆次は小西先生です。